

MINI MINE S

秋田大学地方創生センター主催 2018年度特別展

秋田に残る鉱山の近代化遺産

開催中

— 絵画に記録された寺崎広業の阿仁鉱山と平福穂庵の荒川鉱山 —

開催期間：平成30年11月21日（水）▷平成31年1月31日（木）

場 所：鉱業博物館 2階 特別展示室

平成30年11月21日（水）から鉱業博物館を会場に、秋田大学地方創生センター主催2018年度特別展「秋田に残る鉱山の近代化遺産 — 絵画に記録された寺崎広業の阿仁鉱山と平福穂庵の荒川鉱山 —」を開催しております。秋田大学地方創生センターでは、阿仁鉱山と荒川鉱山の史跡についての調査・研究を行い、公開してきました。特別展ではこれまでの成果をまとめ、後世へ残していかなければならない秋田の鉱山の近代化遺産について幾つか紹介しています。

特に明治以降、近代化へと向かう阿仁鉱山と荒川鉱山においては、秋田出身の日本画の大家である寺崎広業と平福穂庵が、それぞれの町の姿や技術を描き残しており、鉱山史跡の歴史的価値を高めています。

今回の展示では、広業や穂庵により絵画に記録された鉱山の様子を、高精細原寸画像で複製して紹介しています。また、航空測量による荒川鉱山中央選鉱場遺構のCG画像を展示しているほか、荒川鉱山の歴史をまとめ、中央選鉱場をCGで復元した映像も流れ、ボリュームのある内容となっております。この展示を通して、秋田の鉱山史跡について興味を持っていただければ幸いです。



見学者で賑わう特別展

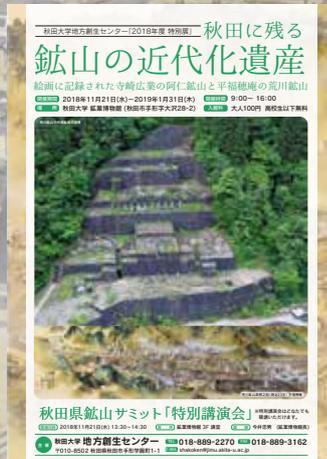
講演会が開催されました

初日の11月21日（水）には、特別展の監修者、今井忠男鉱業博物館長による講演「秋田に残る鉱山の近代化遺産」が行われました。講演では、鉱山をモチーフにしたいくつかの作品を画像で紹介しました。明治前期に平福穂庵によって描かれた「荒川鉱山鉱業之図」では、掘削、製錬し出荷するまでの一つ一つの作業工程が詳細に描かれています。今井館長は、破碎工程では破碎機、選鉱工程ではミルとテーブル選鉱機を導入して機械化されている一方、開削を手作業で行っている様子が描かれており、一度に機械化されていったのではないことが分かる、と話しました。また、寺崎広業が明治前期に描いた作品「阿仁川から水無製錬所を望む」について取り上げ、製錬所の煙突と昔ながらの阿仁船とが描かれており、西洋化される前と後の混然一体となった風景が良く描かれている、と述べました。



講演会の様子

講演会には40名を超える方が参加し、興味深く話に聞き入っていました。



特別展 ポスター

中学生が職場体験をしました

平成30年10月15日（月）、10月16日（火）の2日間、秋田市立東中学校3年生2名が当館で職場体験をしました。1日目は展示標本周辺の清掃や標本の入れ替え、売店商品の



秋田市立東中学校3年生

在庫確認を行いました。2日目は、鉱業博物館サイエンスボランティアとともに、館外の落ち葉の清掃などを行いました。

また10月18日（木）には、由利本荘市立由利中学校1年生1名が職場体験に訪れ、館内の標本の入れ替えや、標本の表示プレートの打ち込み作業をしました。

皆さん礼儀正しく、真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。時間が限られていましたが、様々な仕事を体験することで当館の業務や標本そのものについての関心が深まった様子でした。



由利本荘市立由利中学校1年生

平成30年度第2回 鉱業博物館サイエンスボランティア研修会

平成30年10月24日(水)、平成30年度第2回鉱業博物館サイエンスボランティア研修会が大仙市の大盛館と荒川鉱山跡地で行われました。大仙市協和地区の荒川上流にあった荒川鉱山は、江戸時代から約300年続いた銅鉱山です。

研修会では、今井忠男鉱業博物館長による講演、「写真とCG(コンピュータグラフィックス)で甦る荒川鉱山中央選鉱場」を聴講しました。講演では始めに、動画映像「CGで甦る荒川鉱山中央選鉱場」が流され、荒川鉱山の成り立ちや、繁栄と衰退についての説明のほか、CGで復元した往時の選鉱場が公開されました。今井館長は、荒川鉱山中央選鉱場遺構の特徴として、近代鉱業技術の原型であること、カラミ煉瓦とコンクリートによって作られた堅牢な遺構であること、選鉱場システムの基礎全体が残っていること、平福穂庵の絵画や松田解子の文学が残っていることを挙げ、非常に歴史的価値の高い遺構である、と述べました。また、ドローンを使って測量し、そのデータを利用した選鉱場遺構のCG画像や、測量図が紹介されました。なお、CG画像を用いて作られたパネルと冒頭で映された動画は、大盛館で常時見ることができるようになりました。



今井鉱業博物館長



講演会の様子



中央選鉱場の基礎を見学

講演終了後荒川鉱山跡地へ移動し、今井館長の案内のもと、現地見学会を行いました。見学会では、選鉱場の基礎を見ながら選鉱工程についての説明を受け、鉱山事務所跡地や大煙突を見学しました。

講演を聴講した後に現地を見学することで、参加したサイエンスボランティアの皆さんは、より知識が深まった様子でした。

鉱業博物館サイエンスボランティア 環境整備事業を行いました



平成30年10月16日(火) 鉱業博物館サイエンスボランティアによる今年度2回目の環境整備事業を実施しました。この日は、当館に通じる坂道や展望台に積もった落ち葉の清掃をしました。約2時間掛けて作業は終了し、道の隅々まできれいになりました。急な依頼にもかかわらず快くご協力いただき、ありがとうございました。

平成30年度第4回 鉱業博物館開放講座 ファラデーに魅せられて ファラデーの腐食研究

日時: 平成30年12月7日(金)
14:00 ~ 15:00

講師: 金児 紘征 氏 (秋田大学名誉教授)
会場: 鉱業博物館 3F 講堂

※入館・聴講ともに無料。事前申し込みは不要。

鉱業博物館最新情報は ウェブサイトで確認!

鉱業博物館ウェブサイトでは、入館情報のほか、開催予定のイベント情報などのお知らせも随時掲載しております。ぜひ、アクセスしてみてください。

鉱業博物館

検索

平成30年度 鉱業博物館 冬期間の休館日のお知らせ

平成30年12月から平成31年2月までの冬期間、下記の通り休館させていただきます。皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

年末年始休館

平成30年12月26日(水)
~平成30年1月6日(日)

冬期休館

12月~2月の日曜日・祝日

2018 12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

2019 1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

休館日